

4年間の学びの流れ [令和2年度カリキュラム]

日本を広く学び、深く考察し、自ら行動する力を養います。

		1年次		2年次		3年次		4年次		卒業認定・学位授与方針				
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
専門科目	【基礎科目】 現代日本総論	リーダーシップ・セミナー	現代日本演習Ⅰ	現代日本演習Ⅱ	現代日本演習Ⅲ プロジェクト研究Ⅰ	現代日本演習Ⅳ プロジェクト研究Ⅱ	現代日本演習Ⅴ プロジェクト研究Ⅲ	現代日本演習Ⅵ プロジェクト研究Ⅳ		○	○	○		○
	【経営革新コース】 現代憲法論	日本国家論	現代日本政治論	法律学概論 日本外交論 安全保障論							○			
	経営学概論	マネジメント論	マーケティング論	日本経済論 経済政策論 イノベーション論							○	○		
	【地域創生コース】 現代社会論	地域社会論	地域再生論 社会情報学	社会調査法 社会情報分析	社会統計学Ⅰ (基礎統計)	社会統計学Ⅱ (多変量解析) 質的調査論					○	○		
		社会学概論	産業社会学	家族社会学 公共政策論							○	○		
	【福祉展開コース】 社会福祉原論 神道福祉論 相談援助の 基盤と専門職										○	○		○
			社会保障論 心理学 相談援助の理論と 方法Ⅰ 介護概論 児童・家庭福祉論	相談援助の 理論と方法Ⅱ 障害者福祉論 公的扶助論 医学概論 高齢者福祉 サービス論 雇用政策	地域福祉論 医療福祉論						○	○		
	【文化発信コース】 日本建築論	日本文化論 日本工芸論	日本芸能論	日本礼法論							○	○	○	○
	映像発信論Ⅰ 伊勢志摩発信英語	映像発信論Ⅱ 海外インターン シップ英語	日本文化発信英語									○	○	○
	【コース共通】		伊勢志摩食材論	日本料理発信論							○	○	○	○
			エアライン・ ビジネス論 地域情報論 サブカルチャー論	伝統音楽論 皇室概説	経営者倫理論 地方自治論 近代神道史	観光論					○	○	○	○
	作物栽培学講義	作物栽培学実習	産業社会実習 産業社会実習指導Ⅰ 社会臨床実習Ⅰ 社会情報実習Ⅰ ◀映像制作▶	産業社会実習指導Ⅱ 社会臨床実習Ⅱ 社会情報実習Ⅱ ◀映像制作▶	社会調査実習Ⅰ	社会調査実習Ⅱ						○		○
					社会福祉経営論 精神保健福祉に 関する制度と サービスⅠ 精神保健福祉相談 援助の基盤(専門) 精神医学Ⅰ 精神保健学Ⅰ	権利擁護と 成年後見制度 福祉行財政と 福祉計画 精神保健福祉に 関する制度とサービスⅡ 精神医学Ⅱ 精神保健学Ⅱ 精神保健福祉の 理論と相談援助の 展開Ⅰ	司法福祉論 精神障害者の 生活支援システム 精神保健福祉の 理論と相談援助の 展開Ⅱ	精神保健福祉の 理論と相談援助の 展開Ⅲ 精神保健福祉の 理論と相談援助の 展開Ⅳ			○			
			相談援助実習 指導Ⅰ	相談援助実習Ⅰ	相談援助実習 相談援助実習Ⅱ 相談援助実習 指導Ⅱ	相談援助実習Ⅲ 相談援助実習 指導Ⅰ	総合福祉演習Ⅰ	総合福祉演習Ⅱ						○
						精神保健福祉 援助実習指導Ⅱ	精神保健福祉 援助実習	精神保健福祉 援助演習(専門)Ⅰ 精神保健福祉 援助実習指導Ⅱ	精神保健福祉 援助演習(専門)Ⅱ 精神保健福祉 援助実習指導Ⅲ					○
	礼法Ⅰ 茶道Ⅰ 能Ⅰ	礼法Ⅱ 茶道Ⅱ 能Ⅱ	礼法Ⅲ 茶道Ⅲ	礼法Ⅳ 茶道Ⅳ	茶道Ⅴ	茶道Ⅵ					○	○	○	○
	公務員 コンプリート プログラム	【教養】 一般知能Ⅰ (数的処理入門)	一般知能Ⅱ (数的処理B-Ⅰ) 一般知識Ⅰ(政治)	一般知能Ⅲ (数的処理B-Ⅱ) 一般知識Ⅱ(経済)	一般知能Ⅳ (数的処理A-Ⅰ、文章理解) 一般知識Ⅲ (日本史、世界史) 一般知識Ⅳ (地理、思想)	一般知能Ⅴ (数的処理A-Ⅱ) 一般知識Ⅵ (地学、生物)								○
		【専門】 専門Ⅰ(憲法)	専門Ⅲ(民法Ⅰ)	専門Ⅴ(民法Ⅱ)	専門Ⅶ(ミクロ経済学)	専門Ⅸ (法律系科目演習)								
		専門Ⅱ(政治学、社会学)	専門Ⅳ(行政法Ⅰ)	専門Ⅵ(行政法Ⅱ、行政学)	専門Ⅷ(マクロ経済学)	専門Ⅷ (マクロ経済学) 専門Ⅷ (マクロ経済学) 専門Ⅷ (マクロ経済学) 専門Ⅷ (マクロ経済学)								

■:重要科目

注目の科目

産業社会実習

社会で働く経験を通して、
ビジョンの確立をめざす。

就業体験を通じて、自らの職業観や就業意識の確立をめざします。実習前は、職業人として必要なビジネスマナーや知識などを修得。事後は、実習体験を学生同士で共有しながら、自己の就職観や人生観を見つめ直します。

地域福祉論

理念から役割まで
地域福祉について幅広く学ぶ。

地域福祉の理念や思想を理解するとともに、地域福祉に関する事業や制度改革、それらを担い推進する専門機関や専門職の役割・機能について学びます。また、地域住民として地域福祉推進への関わり方についても考察。

公共政策論

政策の立案に必要な
知識と問題解決力を修得。

政策作りを現役若手官僚と一緒に考える授業。国や県で政策立案・実行してきた講師の経験談を通して公務員の実態を学びます。さらに、日本の課題と対応策に関する知識を習得し、学生自ら解決案を作り、レポートにまとめます。

社会調査実習I・II

社会調査士資格に必要な
知識・技能・応用力を修得。

社会調査のプロセスの基本を体験的に学修し、社会調査士資格に相応の知識・技能・応用力などを修得します。授業はグループワークで行い、仮説の設定、方法や設問の検討、実査、口頭発表、報告書の執筆まで実施します。

伊勢志摩食材論

食材から地域の食文化の
価値と活用について学ぶ。

自然の恵みから得られる伊勢志摩の食材について、その種類や特徴だけでなく、気候や風土、歴史文化といった地域資源との関連性を複合的に学び、地域の食文化の継承とその活用を提案し、実践する力を身につけます。

リーダーシップ・セミナー

理想とするリーダー像に
必要なものについて学ぶ。

現代日本社会学科の各コースの知識を土台として、自ら問題を発見し、分析し、解決策を考えるために必要なリーダーシップについて学びます。テキストとして、スティーブン・コヴィー著『7つの習慣』を使用します。

卒業認定・学位授与方針 卒業までに身につける能力

Diploma Policy

1

現代日本の「経営革新」「地域創生」「福祉展開」「文化発信」の4コースについて、基礎的な知識を身につけ、日本の課題を概説できる。

Diploma Policy

2

4コースのいずれかについての専門的な知識を修得し、当該分野に関する日本の課題を論じることができる。

Diploma Policy

3

現代日本における自らが選択した課題の意義を説明し、解決に向けた方策を考えることができる。

Diploma Policy

4

日本の伝統文化に関わる領域で、基本的な作法・技能を体験し、身につけ、その情報を発信できる。

Diploma Policy

5

諸課題に対して、リーダーとして貢献できるだけの倫理観、洞察力、コミュニケーション力、実践力、応用力を有し、制約された条件下においても、その能力を創造的に駆使できる。

最近の主な卒業論文のテーマ

政治経済分野

- ソーシャルメディア・マーケティングに関する一考察
- なぜ漫画「ONE PIECE」はヒットしたか
- 日本人の創造性開発—自己評価の観点から創造性の創出を図る

地域社会分野

- 三重県の6次産業化に関する一考察
- 買物難民について
- 子ども食堂の展開と課題
- 地方の公共交通とまちづくり

社会福祉分野

- 高齢者虐待に関する問題と課題
- 生活困窮世帯の子供を対象とした学習支援の効果
- 障害者雇用における現状と課題

伝統文化分野

- 万葉仮名について～戯書における日本人の感性～
- よさこい系祭りの伝播とこれから
- VR技術の可能性について～進化するVRの現状とこれから～

※平成31年度から「分野」が「コース」に変更となり、それに伴いコース名称が変更されました。